



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 テイカ株式会社
 コード番号 4027 URL <http://www.tayca.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 名木田 正男
 (氏名) 山崎 博史

TEL 06-6208-6404

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	27,208	△1.3	3,426	21.1	3,620	22.0	2,466	27.2
27年3月期第3四半期	27,570	2.9	2,828	50.6	2,966	52.6	1,938	57.5

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 1,549百万円 (△49.0%) 27年3月期第3四半期 3,038百万円 (18.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	51.82	—
27年3月期第3四半期	39.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	48,737	34,231	69.8	715.12
27年3月期	48,126	33,113	68.4	691.58

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 34,041百万円 27年3月期 32,926百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
28年3月期	—	5.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,000	5.1	4,600	20.9	4,800	22.4	3,200	30.1	67.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	51,428,828 株	27年3月期	51,428,828 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	3,826,912 株	27年3月期	3,818,581 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	47,605,987 株	27年3月期3Q	49,397,143 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善などが見られたものの、中国を始めとするアジア新興国の景気減速に加え、地政学リスクの高まりや原油価格の下落などの影響により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、国内外市場における新規顧客の開拓や既存顧客との取引拡大などを積極的に推進するとともに、製造原価の低減、経営全般にわたる効率化を推進し、業績の向上に取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、化粧品向けの表面処理製品等の機能性製品の販売が好調に推移いたしました。一方で、連結子会社の売上が期後半に入り減少したことなどにより、売上高は272億8百万円（前年同期比1.3%減）、営業利益は34億2千6百万円（前年同期比21.1%増）、経常利益は36億2千万円（前年同期比22.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は24億6千6百万円（前年同期比27.2%増）となりました。

セグメント別の業績につきましては、酸化チタン関連事業の売上高は147億8千4百万円（前年同期比1.5%増）、その他事業の売上高は124億2千3百万円（前年同期比4.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産総額は、487億3千7百万円（前連結会計年度末比6億1千1百万円増加）となりました。これは主に、有形固定資産が12億1千7百万円増加したことによります。

負債合計は、145億6百万円（前連結会計年度末比5億5百万円減少）となりました。これは主に、借入金が増加した7億8千9百万円減少したことによります。

純資産合計は、342億3千1百万円（前連結会計年度末比11億1千7百万円増加）となりました。これは主に、利益剰余金が20億3千8百万円増加、その他有価証券評価差額金が7億5千3百万円減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期業績は概ね計画通りに推移しており、平成27年11月6日に公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,413	7,089
受取手形及び売掛金	10,684	11,560
商品及び製品	5,262	5,008
仕掛品	543	518
原材料及び貯蔵品	2,612	2,745
その他	682	813
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	27,197	27,735
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,713	4,018
機械装置及び運搬具（純額）	3,645	4,051
その他（純額）	3,338	3,845
有形固定資産合計	10,697	11,915
無形固定資産	68	51
投資その他の資産		
投資有価証券	9,379	8,287
その他	806	770
貸倒引当金	△23	△23
投資その他の資産合計	10,162	9,035
固定資産合計	20,928	21,002
資産合計	48,126	48,737

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,531	4,505
短期借入金	1,462	1,130
未払法人税等	906	403
賞与引当金	351	179
その他	2,328	2,548
流動負債合計	8,580	8,767
固定負債		
長期借入金	2,170	1,712
環境対策引当金	134	53
退職給付に係る負債	2,855	2,842
その他	1,272	1,129
固定負債合計	6,432	5,738
負債合計	15,012	14,506
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,855	9,855
資本剰余金	6,766	6,766
利益剰余金	12,864	14,903
自己株式	△1,440	△1,445
株主資本合計	28,047	30,080
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,653	3,900
為替換算調整勘定	302	119
退職給付に係る調整累計額	△76	△59
その他の包括利益累計額合計	4,879	3,960
非支配株主持分	187	189
純資産合計	33,113	34,231
負債純資産合計	48,126	48,737

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	27,570	27,208
売上原価	21,097	19,987
売上総利益	6,473	7,220
販売費及び一般管理費	3,645	3,794
営業利益	2,828	3,426
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	137	136
環境対策引当金戻入益	—	66
その他	58	57
営業外収益合計	197	262
営業外費用		
支払利息	41	32
その他	17	35
営業外費用合計	59	68
経常利益	2,966	3,620
特別損失		
固定資産除却損	69	63
出資金評価損	25	—
特別損失合計	95	63
税金等調整前四半期純利益	2,871	3,556
法人税、住民税及び事業税	817	970
法人税等調整額	87	99
法人税等合計	905	1,070
四半期純利益	1,966	2,486
非支配株主に帰属する四半期純利益	27	20
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,938	2,466

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	1,966	2,486
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	959	△753
為替換算調整勘定	96	△201
退職給付に係る調整額	17	17
その他の包括利益合計	1,072	△936
四半期包括利益	3,038	1,549
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,003	1,547
非支配株主に係る四半期包括利益	34	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	酸化チタン 関連事業	その他 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,568	13,002	27,570	—	27,570
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	447	447	(447)	—
計	14,568	13,449	28,017	(447)	27,570
セグメント利益	1,572	1,256	2,829	(1)	2,828

(注) 1. セグメント利益の調整額△1百万円は、セグメント間取引消去額によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	酸化チタン 関連事業	その他 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,784	12,423	27,208	—	27,208
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	544	544	(544)	—
計	14,784	12,968	27,753	(544)	27,208
セグメント利益	2,046	1,390	3,436	(10)	3,426

(注) 1. セグメント利益の調整額△10百万円は、セグメント間取引消去額によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。